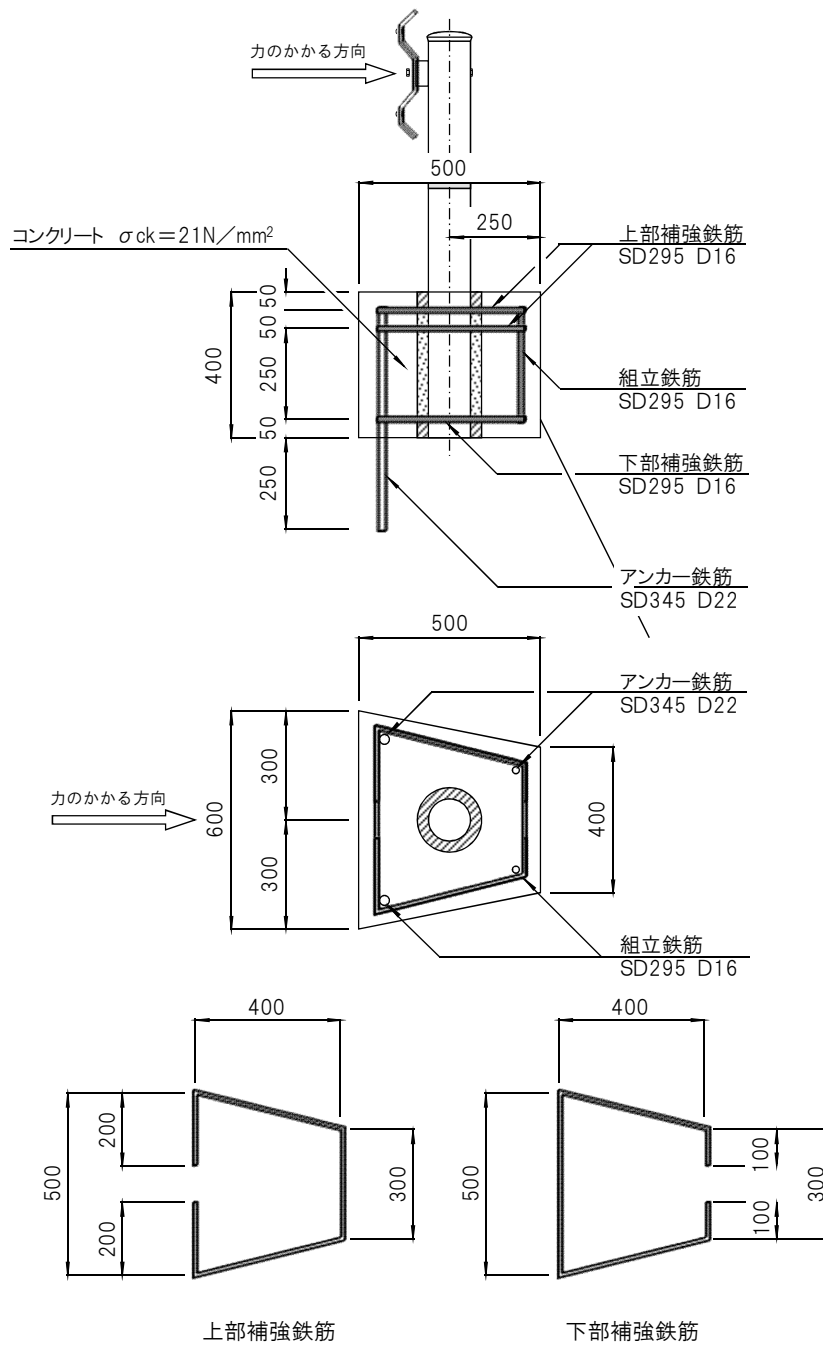


ガードレール基礎 BGR2(在来構造物に設置)



注意事項

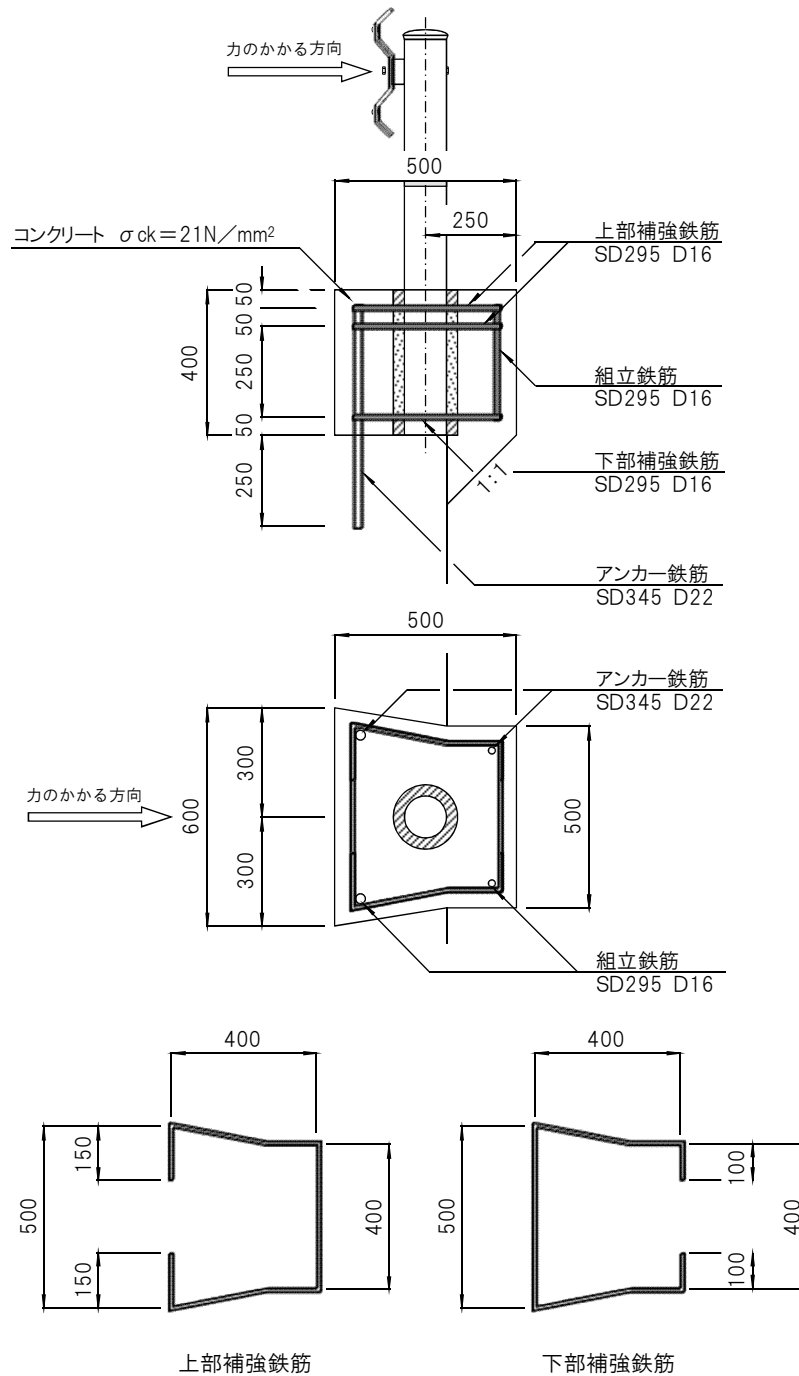
1. ガードレールはC種のみを対象とし、大型車両の通行がない局部的な補修工事のみ適用できるものとする。

材料表

(1基当たり)

| | コンクリート $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ (m ³) | 型枠 小型構造物 (m ²) | 鉄筋 SD295 D16 (kg) | アンカー鉄筋 SD345 D22 (kg) |
|------|--|----------------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| BGR2 | 0.090 | 0.794 | 8.071 | 3.648 |

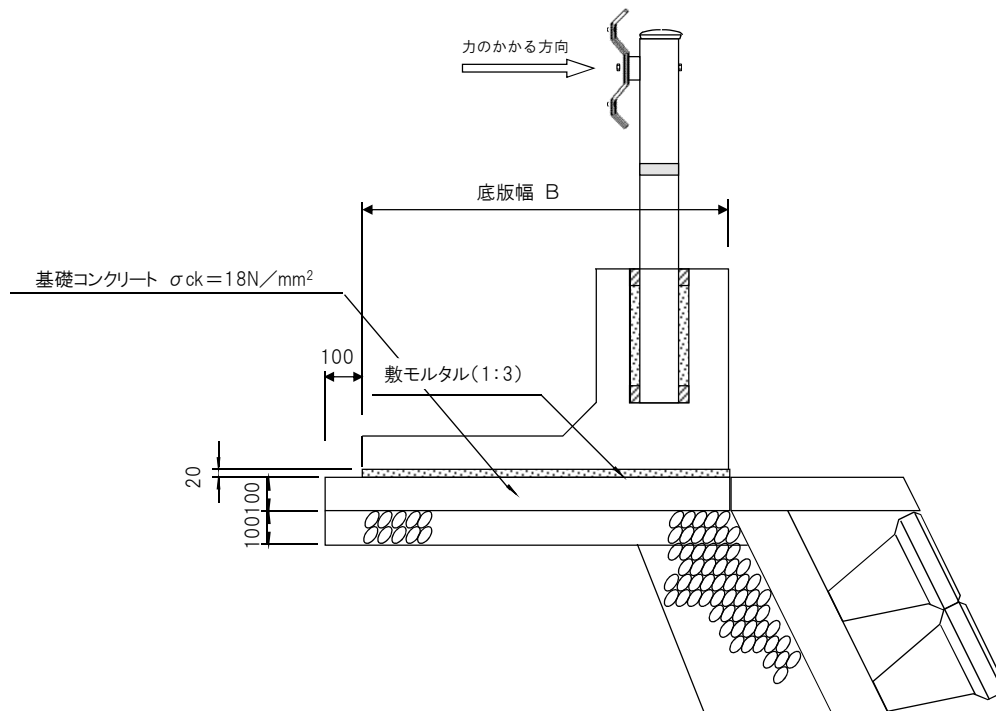
ガードレール基礎 BGR3(在来構造物に張出設置)



注意事項

1. ガードレールはC種のみを対象とし、大型車両の通行がない局部的な補修工事のみ適用できるものとする。

ガードレール基礎 BGR4



注意事項

1. ガードレールはB・C種を対象とする。
2. 原則、コンクリートブロック積の擁壁上部に、ガードレール基礎を設置しないようにすること。ただし、現地条件等の制約により、これにより難しい場合は、擁壁上部に緩衝ゴムを設ける等分離構造とすること。
3. ガードレール基礎の製品規格（底版幅Bなど）については、衝突荷重を考慮した構造計算を行い選定すること。
4. 構造計算は、「防護柵の設置基準・同解説」（平成20年1月）、「車両用防護柵標準仕様・同解説」（平成16年3月）及び「道路土工－擁壁工指針」（平成24年7月）に準拠すること。